

道の駅・地域商社・コンパ

平成30年度の各会計予算案が、3月16日から22日に

道の駅

ここがポイント 地域商社推進事業

道の駅の指定管理者である株式会社 tobe には地域経済を牽引する地域商社としての役割もあります。この地域商社を推進するために町が支出する 3,300 万円の負担金の内容について質疑が行われました。



町内周遊を目的として開発されたアプリ「とうべつ Navi」

問 道の駅指定管理者である株式会社 tobe へ、地域商社推進事業負担金として支出する 3,300 万円は国費 1/2、町費 1/2 とのことだが、その内訳は。

答 商品開発が 800 万円、商品の国内販路拡大が 1,000 万円、海外販路拡大が 500 万円、インバウンド観光客の周遊促進等 1,000 万円で、地方創生推進交付金を活用している。

問 地域商社推進事業の決定権はどこにあるのか。株式会社 tobe から町への報告義務はあるのか。また、株式会社 tobe の経営内容は町、議会に報告されるのか。

答 事業詳細は株式会社 tobe が決定権を持つが、適正に活用されるよう道の駅室で助言する。報告は来年 4 月以降で中間的な報告義務はない。経営については 5 月から 6 月の株主総会後に議会に報告する。

ここがポイント 周遊観光

地域おこし協力隊を活用して、フィーカ（太美駅）を拠点に観光協会がレンタサイクルを行う計画について質疑が行われました。



太美駅にあるフィーカ

問 地域おこし協力隊の募集方法、業務内容は。道の駅からの周遊を図るレンタサイクルの拠点がなぜフィーカなのか。観光協会からの要望なのか。

答 4 月中に募集を開始し 6 月に採用する予定。観光協会事務局業務に携わる。事業実施主体となる観光協会との協議の中で協会がすでに事業展開しているフィーカを拠点とすることとした。

ここがポイント 町道 17 線改修

問 工期、工事中の通行、財源は。道の駅から町内周遊のための案内看板は予算に含まれるのか。また南 2 号との交差点は段差があり危険。配慮した工事を。

答 工期は 7 月から 9 月で片側通行で行う。財源の 90% は町債で賄う。工事中の案内看板については今後すぐに調整する。交差点の高低差も安全対策に配慮して整備を進めたい。

ここがポイント 道の駅に商品搬入路新設

問 道の駅施設維持工事で 380 万円計上されているが工事内容は。

答 道の駅に新たな商品搬入路を設置する。また、国道 275 号と国道 337 号の交点に誘導看板を 2 箇所設置する。

クトシティなどに多くの質問

開催された予算審査特別委員会で審議されました。

教育・子育て



阿蘇公園に新設されるコンビネーション遊具のイメージ図
(※イメージ図なので、実際と異なる場合があります。)

ここがポイント 阿蘇公園遊具

阿蘇公園の木製アスレチックを撤去し、あらたに大型コンビネーション遊具を設置するために3,000万円が計上されました。遊具の設置場所や工事期間について質疑が行われました。

問 遊具の設置場所、遊具の選定方法、工事期間は、公園を使用するイベントへの影響はないか。

答 公園中央のプレーロット南側の芝生に設置する。遊具は子どもたちにア

ンケート調査し6割の支持を集めたものを設置する。工期は6月から8月だが、イベントに支障のないよう、各団体と協議しながら、早期に完了させたい。また、既存の木製のアスレチック等の遊具は撤去する。

ここがポイント 高校生等への奨学金

問 当別町高校生等奨学金運営協議会による奨学金等の内容は。

答 協議会が運営し、昨年度は町18万円、ライオンズクラブ40万円、ロータリークラブ3万円などで67万円。町内に居住する学費の支弁が困難で、かつ、学業優秀の方に月1万円を支給している。

ここがポイント 入学準備金を創設

生活保護を受けているなど就学が困難な家庭を対象に、就学費用の一部を助成する就学援助の最近の取り組みについて質疑が行われました。



学用品の準備に活用できる入学準備金を3月に支給

ここがポイント 学校図書への購入

問 小学校分110万円の配分は。また図書の購入先は教育委員会で指定しているのか、それとも学校現場に決めさせているのか。

答 当別小学校57万円、西当別小学校53万円を予定。購入先は町内に指定はしていない。可能な限り町内で買うようにしたい。揃えられるものから町内に切り替えたい。

問 就学援助費について教育委員会として取り組んでいることは何か。

答 入学予定者に対して、小学校4万600円、中学校4万7,400円の入学準備金を29年度に創設し、3月中に支給した。

立地適正化計画

コンパクトで持続可能なまちづくりのために、公共施設の集約や駅前開発事業などの計画を2年間かけて策定する予算1,000万円が計上され、発注方法、事業内容、人口目標2万人との整合性などについて質疑が行われました。



駅を中心にしたコンパクトで持続可能なまちづくり

ここがポイント

町民参加の機会

問 町民参加の機会はあるか。また、一体型一貫校の用地選定は含まれるか。

答 今年度は、コンパクトなまちづくりの方向性を固めるとともに駅前開発事

業の検討業務などを行い、町民アンケートを実施予定。31年度には町民の声を聞く機会を設ける方向で今後検討する。一貫校の用地は教育委員会で選考するので、計画に反映させる。

ここがポイント

発注方法・区域

問 策定業務には様々な分野が含まれるが、1社に委託するのか、分野にわけけるのか。集約の拠点はどこか。また31年度の予算見通しは。

答 プロポーザルで広く提案を募る予定。集約は、駅を中心に本町地区と太美地区の2拠点。31年度は概算で600万円程度を想定している。

ここがポイント

人口目標との整合性

問 2040年目標人口2万人を前提とした、計画策定なのか。また、委託業務のプロポーザルでは、人口目標を要件とするのか。

答 計画策定にあたっては、総合戦略の目標を基本として、仕様書の内容はこれから検討する。2万人達成するためにどうまちづくりをしたらいいのか、住民の皆さんや関係機関の声を聞きながら整理をしていきたい。

その他の質問

ここがポイント

医療大生1,000人



北海道医療大学に設置した転入届臨時受付窓口

問 医療大生の町内居住については、目標1,000人と言われている。これはプラス1,000人なのか、最終的な目標が1,000人なのか。

答 現状の町内居住学生は、900人なので、まず1,000人に到達させ、その上で、次の目標としてプラス1,000人を達成させたい。

ここがポイント

木質バイオマス

町内の公共施設に木質バイオマスボイラーを設置するための計画策定業務1,000万円が計上されました。検討の進め方について質疑が行われました。

問 新築される当別地区の一体型一貫校への設置も検討するのか。既存の学校はどうか。検討結果はいつごろ取りまとめられるのか。一体型一貫校については教育委員会のスピード感と調整を。

答 西当別小、西当別中、当別小、当別中、一体型一貫校、役場、ゆとろ、2つのコミセンを想定している。委託業務は2月末までを予定している。教育委員会のスケジュールも承知している。

当別消防署

ここがポイント 増額の要因は

問 消防費は昨年と比べて、2,834万円の増額だがその内訳は。詳細の説明がないのはなぜか。

答 当別消防署屋根の防水塗装業務が2,300万円、その他大きくは人件費の増である。消防事務組合の人事に派生した増額なので、町の予算資料には掲載しなかった。

ここがポイント 再任用のあり方

問 本部の再任用職員を当別消防署長とすることに問題はないのか。副町長（消防事務組合副管理者）としての監督責任はないのか。

答 石狩北部地区消防事務組合の条例及び運用指針に従い妥当である。署長を本部から派遣させ、1年間で当別消防署の体制強化を図ることで、監督責任を果たしていきたい。

各会計予算案を原案どおり可決

賛成12名 反対1名

3月16日、19日の質疑に続いて3月22日に平成30年度各会計予算案が採決されました。採決に先立って討論が行われ、予算審査特別委員会で反対1名、賛成1名、

本会議で反対1名賛成2名が登壇しました。その後の採決では、1名が退席し賛成12名反対1名の賛成多数で原案どおり可決されました。

討論 反対します。



澁谷 俊和 議員
町営住宅の修繕、公園、道路舗装など町民の切実な要求に応える予算になっていないため、一般会計予算案に反対する。

討論 賛成します。



山田 明 議員
速やかに平成30年度予算執行にスタートを切りたいと考える。他の議員も同様の意見だと思う。

平成30年度各会計予算審査特別委員会

委員長 稲村 勝俊 副委員長 佐藤 立
委員 議長を除く14名の議員

起草委員会
委員長 岡野 喜代治
委員 石川 和榮 山田 明 秋場 信一



山崎 公司 議員
総合戦略に基づき、産業の強化、子育て、高齢者に至るまでバランスよく予算提案されている。事業の成果に期待する。



佐藤 立 議員
ふるさと納税は地域活性化を進める画期的な制度である。本予算は、総合戦略の達成に向けて着実な一歩となると信じる。